

修士論文要旨

学籍番号 22GH304

第

号

氏名 CHEN TINGTING

人文社会科学専攻 (コース: 政策科学)

論文題目

海外直接投資が中国におけるハイテク産業の競争力に与える影響

経済のグローバル化は20世紀以降急速に進み、海外直接投資の増加がその重要な特徴の一つである。中国は1978年の改革開放以降、外国資本の導入を国家戦略として位置づけ、多様な優遇政策を実施し、外国企業の直接投資を促進してきた。この動きは経済成長と相まって外資の参入を拡大した。特にハイテク産業では、中国は海外投資の主要な受け手となり、その実質的な外資利用率は高い成長を続けている。知識経済の時代において、科学技術、情報、人材は社会発展に不可欠であり、ハイテク産業は経済を支える独創性を持っている。この分野は知識蓄積が豊富であり、技術の専門化が進んでおり、近年の技術革命に伴い、新たな産業として注目を集めている。ハイテク産業の発展は、研究、生活、教育、経済成長など多岐にわたる側面で重要な役割を果たしている。専門的な知識が新製品の創造に寄与し、それによって膨大な収益が生まれる。中国では、1950年代以来多くのハイテク産業開発ゾーンが設立され、卓越した成果を上げ、世界的な注目を集めている。

本論文は中国における海外直接投資 (FDI) がハイテク産業の競争力に及ぼす影響を実証的に分析した。中国の公的データを用いた実証分析から、FDIとハイテク産業との関係は見られず、R&Dの投入と全要素生産性の間の正の関係が明らかになった。論文の構成は以下の通りである。まず、第1章で研究の背景、動機を述べる。第2章では、国際的なFDIの変動要因や経済への影響に関する先行研究を包括的に検討し、世界各国と中国の異なる産業におけるFDIの影響を比較し、本研究との違いを明確にし、研究の独自性を強調する。第3章では、本研究で使用されたデータセットや収集方法について詳細に説明し、データの信頼性や特徴についての洞察を提供する。第4章では、本研究のモデルと分析方法について詳しく説明し、研究の理論的なフレームワークや調査手法を理解し、結果の解釈に深みを加えることができる。第5章では、回帰分析の結果をまとめ、得られた知見を解釈する。各変数の影響や相互関係について詳細な議論を通じて、研究の主要な発見を読者に伝えるとともに、結果の意義を探求する最終的に、第6章では、研究の総括と結論をまとめ、本研究の限界や改善の余地について議論する。また、今後の研究方向や未解決の課題についても示唆する。この論文は、FDIが中国のハイテク産業に与える影響を分析し、中国の経済成長と競争力向上に関する知見を提供することを目指す。